

第10次若桜町総合計画「評価シート」

令和5年12月28日公表

【計画期間】令和4年度～令和8年度

1. 基本目標	2. 評価指標			3. ページ	4. 担当所属	5. 年度別達成状況		6. 分析	7. 関連する事業名・事業概要 (①予算額 ②決算額 ③具体的実施内容 ④今後の検討課題等と解決方法(方針))
	項目	現状 (R3年度/ R2年度)	目標 (R8年度)			R4年度(1年目)			
						実績	達成率		
I 安全で快適に暮らしやすいまち	自主防災組織率 ☆R3年度	85.7%	100.0%	31	総務課	85.6%	-0.7%	■未結成10集落のうち、20世帯以上の2集落は結成をR6年度までに完了して、20世帯以下の8集落に対して合同での結成等、方策を提案する	■自主防災組織新規設立事業、自主防災組織支援事業 ①R4:925千円 ②R4:472千円 ③R2年度～4年度に鳥取県新規設立支援事業補助金を活用し、3団体が組織を結成して備品等を整備した ④地域の高齢化により結成率が停滞しているが、複数の組織が合同で結成することで促進を図る
	交通事故発生件数 ☆R3年度	42件	0件	31	総務課	48件	-14.3%	■観光客が増えた結果、その物損事故も増加したため、目標に至らなかった	■交通安全協会 ①R4:40千円 ②R4:40千円 ③運転者講習会の開催 ④参加者が減少傾向にあるため、対象をドライバー以外にも広げるなどして、講習会の内容を検討する ■カーブミラー等設置・修繕 ①R4:200千円 ②R4:193千円 ③カーブミラー等の設置及び修繕 ④特になし
	ごみ総排出量 ☆R3年度	668 t	523 t	31	町民課	662 t	4.1%	■コロナ禍となり自宅での生活が増えたためごみの排出量があまり減少していないことも一因と考えられる。但し、人口減であればごみの総排出量は減少すると思われるため、1人当たりに換算した排出量を比較した方がよいと考える	■資源ごみ回収報奨金、優良団体表彰 ①R4:651千円 ②R4:399千円 ③資源ごみ回収報奨金・古紙回収優良団体表彰 ④資源ごみ回収団体の固定化がみられるため、他団体でも積極的に参加できるようにPRを実施していく必要がある
II みんなを大切に、子どもを産み育てやすいまち	合計特殊出生率(外国人除く) ☆R2年度	0.67	1.68	37	町民課	1.68	達成	■年による増減が大きいため、R4年度は達成しているが、今後も確認が必要	■若桜町出産祝金支給事業 ①R4:950千円 ②R4:900千円 ③出産祝金の支給 (第1子及び第2子:50,000円、第3子以降:100,000円) ④R5年度から、「かがやけ未来!子ども・子育て応援祝金事業」に統合し実施 ■若桜町子育て応援給付金支給事業 ①R4:2,580千円 ②R4:2,070千円 ③1歳未満の児童を家庭内で保育している保護者に対し月3万円を支給 ④特になし
	特定健診受診率(国保) ☆R2年度	50.5%	65.0%	37	町民課	48.2%	-15.9%	■コロナ禍となり検診の受診控えが生じ微減となっていると考えられる	■特定健診、各種がん検診、肝臓超音波検診、骨粗しょう症予防健診 ①R4:16,553千円 ②R4:13,916千円 ③健診自己負担額の軽減を図り、集団と個別検診を選択して受けるような体制を整えている。精密検査が必要な場合は保健師が対面で結果説明し、受診勧奨をしている ④受診者数が伸び悩んでいるため、医療機関との連携を強化、また、広く町民に情報提供して受診者を増やす
	健康診査受診率(後期高齢) ☆R2年度	57.2%	75.0%	37	町民課	56.4%	-4.5%	■現状数値の把握方法と実績数値の把握方法が異なり現状より減少していることも一因と考える	

1. 基本目標	2. 評価指標			3. ページ	4. 担当所属	5. 年度別達成状況		6. 分析	7. 関連する事業名・事業概要 (①予算額 ②決算額 ③具体的実施内容 ④今後の検討課題等と解決方法(方針))
	項目	現状 (R3年度/ R2年度)	目標 (R8年度)			R4年度(1年目)			
						実績	達成率		
Ⅲ 豊かな心と体を育み、人材を育てるまち	若桜学園で英語検定3級以上の英語力を有する生徒の割合 ☆R3年度	25.0%	50.0%	44	教育委員会事務局	26.0%	4.0%	■新たに英検3級以上を受験した生徒が増えたため、昨年度より実績が1%上がった	■英語検定受検費補助事業 ①R4:300千円 ②R4:116千円 ③5年生以上の英語科の授業において、オンライン英会話事業を実施する予定である ④本事業はエドテック補助金事業を活用しているため、R4年度は町費の持ち出しなしで実施するが、学習効果があればR5年度以降の実施を検討していく
	町の審議会等における女性委員の割合(平均) ☆R3年度	33.8%	40.0%	44	教育委員会事務局	26.9%	-111.3%	■現状は充て職等による登用が多く、目標を達成するためには、裾野を広げた啓発が必要であり時間を要する	■女性活躍推進 ①R4:0千円 ②R4:0千円 ③町の審議会等における女性委員の割合(平均)の向上促進 ④各部局への継続的な周知・啓発が必要
	伝統的建造物群保存整備事業補助金交付件数<<累計>> ☆R3年度	5件	25件	44	経済産業課	3件	12.0%	■年間数件の問い合わせはあるが、国の指導により設計監理を伴う修理修景が必要となるため、補助率は高いものの通常より事業費が割高となり、住民の持ち出しが多くなる点や事業の指導監督を町でする必要があるため、修理件数を増やすのは難しい状況	■伝統的建造物群保存地区保存整備事業 ①R4:13,097千円 ②R4:12,419千円 ③伝建地区内の建物修理修景希望者への補助 ④文化庁の基準に合わせた修理体制の確立、建物所有者への事業の周知
Ⅳ 豊かな自然を活かし、産業が活性化するまち	農林業新規就業者数<<累計>> ☆R3年度	3人	3人	51	経済産業課	1人	33.3%	■農業研修生の受入、親元就農促進、集落営農組織の育成、退職就農者の確保・支援などに努める ■3Kイメージ、所得の低さ	■親元就農促進支援交付金事業 ①R4:1,200千円 ②R4:1,200千円 ③養豚における肥育・繁殖を主とする知識・技能を習得することで、養豚場経営の基礎を理解し、運営できるよう補助を行う。将来現在の経営主から親元就農者への経営移譲を目指す ④飼料価格の高騰や豚熱の感染拡大による被害が見込まれる ■若桜町林業研究会育成事業費補助金、若桜町林業担い手奨学金支援助成金、鳥取県森林整備担い手育成総合対策事業費補助金 ①R4:847千円 ②R4:487千円 ③若桜町林業研究会への補助や林業事業者が雇用する労働者の社会保険料を補助するもの ④林業の担い手育成や人材確保を推進するため、補助金による支援を継続する
	木材搬出量 ☆R2年度	19,000m ³	28,000m ³	51	経済産業課	19,500m ³	5.6%	■現場の人員不足及び施業地の奥地化により搬出量が伸び悩んでいる	■若桜町造林事業補助金、美しい森林づくり基盤整備交付金 ①R4:46,440千円 ②R4:28,726千円 ③林業事業者が実施する間伐等の森林整備に係る経費を補助するもの ④森林の適正な管理を推進するため、補助金による支援を継続する
	創業・継業者数<<累計>> ☆R3年度	1件	15件	51	経済産業課	2件	13.3%	■コロナ禍等により新規開業が伸びなかったと考えられる	■事業承継支援補助金事業 ①R4:500千円 ②R4:500千円 ③町内事業所の事業を承継する法人又は個人に対し補助金を交付する ④事業を承継する際に必要な経費を支援している。第三者承継についても検討していく必要がある ■創業支援補助金事業 ①R4:1,000千円 ②R4:1,000千円 ③町内で創業する事業者に必要な経費を支援する ④町内での創業者に引き続き支援を行っていく
	観光入込客数 ☆R3年度	261,330人	300,000人	51	経済産業課	280,666人	50.0%	■コロナ禍の中ではあったが、新規出店や城跡人気、伝建地区選定等で増えたと考えられる	■交流人口増加に向けたイベントの実施 ①R4:1,271千円 ②R4:1,271千円 ③鬼っこまつり、納涼花火大会、清流祭り等の実施 ④コロナ禍が明け、多くのイベントの復活が想定される中で、町外から多くの来訪者が訪れ、再度来町してもらえるような事業内容を検討する ■観光協会運営への支援 ①R4:14,302千円 ②R4:13,611千円 ③観光協会の運営へ補助を行い、町内観光の中心として活動いただく ④観光ガイドは高齢化が進んでおり、ガイド育成は大きな課題である。協会と連携を図りながら、体制整備を図っていく

1. 基本目標	2. 評価指標			3. ページ	4. 担当所属	5. 年度別達成状況		6. 分析	7. 関連する事業名・事業概要 (①予算額 ②決算額 ③具体的実施内容 ④今後の検討課題等と解決方法(方針))
	項目	現状 (R3年度/ R2年度)	目標 (R8年度)			R4年度(1年目)			
						実績	達成率		
V 住みたい・訪れたい・楽しみたい魅力的なまち	移住者数<<累計>> ☆R3年度	2人	200人	53	企画政策課	5人	2.5%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町民課窓口でのアンケートによる集計 ■ 人数はR3年度と横ばい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 移住定住促進事業 ①R4:616千円 ②R4:196千円 ③都市圏の相談会出展、オンライン相談会の開催、移住体験ツアーの実施、SNS広報 ④アフターコロナを見据え、R5年度から相談会の出展等を本格的に再開するとともに、独自の体験ツアーの実施や、SNSを活用した空き家物件等の情報発信を行う ■ 若桜町特定地域づくり事業 ①R4:23,742千円 ②R4:14,762千円 ③若桜町特定地域づくり事業協同組合を支援することで、地域の仕事を組み合わせることで年間を通じた雇用を創出し、協同組合から組合員へ人材を派遣することにより、地域の担い手を確保し、若者等の移住・定住を推進する ④現在は派遣先に偏りが生じており、一度も職員を派遣できていない事業所もある。今後も状況を注視しつつ課題解決への手立てを検討する必要がある
	社会増減数 ☆R3年度	-49人	-15人	53	町民課	-40人	26.5%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 担当課のみでの分析は困難。全体の事業効果を含めた分析が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 若桜町住宅支援補助等 ①R4:22,800千円 ②R4:2,000千円 ③新築・住宅取得・Uターン改修補助等 ④新町の宅地造成の時期に合わせて予算の増額を検討する必要がある ■ 結婚新生活支援補助事業 ①R4:1,800千円 ②R4:0千円 ③新婚世帯(当該年度内に婚姻)が婚姻後に新たに居住する住宅の取得費用、賃貸費用、引越費用を補助する ④実績がないため、制度周知の必要がある ■ 大学等奨学資金返還支援事業 ①R4:360千円 ②R4:66千円 ③対象者への奨学金返還支援を行うことで、若桜町への就労、定住を推進する ④制度の利用者が少ないため、制度の積極的な周知を図る
VI 住民参加のまち	ふるさと納税寄付金額 ☆R3年度	23,100千円	100,000千円	58	企画政策課	20,721千円	-3.1%	<ul style="list-style-type: none"> ■ R4年度は松葉ガニの不漁及び高騰により高額寄付の伸びがなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ふるさと納税推進事業 ①R4:19,357千円 ②R4:15,484千円 ③地元特産品や県共通返礼品の採用を積極的に行って、寄付額の増加につとめている ④専門家の指導などにより返礼品の充実を図り、効率的な運営を目指す
	企業版ふるさと納税寄付件数<<累計>> ☆R3年度	0件	10件	58	企画政策課	0件	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ■ R4年度は島根銀行と仲介委託業務の契約を結んだが、動きがみられず、申込みがなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 若桜町企業版ふるさと納税地域創生基金 ①R4:0千円 ②R4:0千円 ③地元銀行と提携を行い、企業とのマッチングを図る ④地元銀行と提携を行い、企業とのマッチングを図る